

2020年9月2日

株式会社日立製作所

株式会社日立ビルシステム

日立エレベーターアジア社

日立がシンガポール・住宅開発庁(HDB)住宅向けエレベーター300台の 納入案件を再度落札

日立グループとしてシンガポールにおける過去最大級の昇降機納入案件



シンガポールの HDB 住宅

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)と株式会社日立ビルシステム(取締役社長:光富 眞哉/以下、日立ビルシステム)は、このたび、シンガポール共和国(以下、シンガポール)の昇降機販売・サービス会社である Hitachi Elevator Asia Pte. Ltd.(社長:Victor Sia(ビクター・シア)/以下、日立エレベーターアジア社)を通じて、シンガポール・住宅開発庁(HDB*)住宅向けのエレベーター300台の納入案件を落札しました。今回の案件は、シンガポールにおける日立グループの昇降機納入案件としては、2019年に受注した HDB 住宅向けエレベーター300台*2と並ぶ過去最大級のものになります。日立エレベーターアジア社は、本納入案件の獲得により、2020年度において、シンガポールにおける昇降機新設台数シェアトップ3を堅持することをめざします。

日立エレベーターアジア社社長のビクター・シアは、「われわれの人財、製品、サービスに対する HDB からの変わらぬ信頼を誇りに思います。今回の受注を通じて HDB との関係をさらに深めるとともに、今後利用者の皆さまにサービス提供できることを楽しみにしています。」と述べています。

日立エレベーターアジア社は、2019年に日立グループとしてシンガポールにおける過去最大級の昇降機受注となる HDB 住宅向けエレベーター300 台を受注*2しました。このほか、シンガポール国立大学やチャンギ国際空港、さらにはシンガポールで最も高いビルであるグオコタワー(旧・タンジョンパガーセンター)をはじめとする代表的な施設にエレベーターやエスカレーター、動く歩道を納入しています。また、2019年には、エレベーターの稼働データを遠隔でリアルタイムに収集し、稼働状態を監視するとともに、データ分析結果をもとにした予防保全を実現する高度な遠隔監視・保全サービスの提供を開始*3しています。

日立と日立ビルシステムは、今後も、IoTをはじめとする最先端のデジタル技術を幅広く活用し、安全・安心・快適な昇降機や、都市空間におけるお客さまのさまざまな課題解決に貢献するサービスをグローバルに提供し、持続可能な社会の実現に貢献します。

*1 HDB: Housing & Development Board

*2 2020年5月19日付ニュースリリース「日立がシンガポール・住宅開発庁(HDB)住宅向けにエレベーター300台を受注」
<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2020/05/0519.html>

*3 2019年9月26日付ニュースリリース「エレベーターの遠隔監視・保全サービスのグローバル展開を本格的に開始」
<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2019/09/0926.html>

■日立製作所について

日立は、IT(Information Technology)、OT(Operational Technology)およびプロダクトを組み合わせた社会イノベーション事業に注力しています。2019年度の連結売上収益は8兆7,672億円、2020年3月末時点の連結従業員数は約301,000人でした。日立は、モビリティ、ライフ、インダストリー、エネルギー、ITの5分野でLumadaを活用したデジタルソリューションを提供することにより、お客さまの社会価値、環境価値、経済価値の3つの価値向上に貢献します。

詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp/>)をご覧ください。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立ビルシステム カスタマーサポートセンター
電話:0120-7838-99(フリーダイヤル)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
